

【1分析：地域社会のニーズを分析】

Q1 地域にはどんな人っていますか？	社会人の男女、学生などに多く見られる。ジェンダーについて運動を起こしている組織
Q2 地域にはどんな問題がありますか？	上野大学三浦まゆ教授らの「地域からジェンダー平等研究会」は、市町村議会での女性議員の増やや自治体や企業の管理職に占める女性の割合などの統計資料をもとに、都道府県ごとの現状や課題を調査し、「自治体別ジェンダーギャップ指数」として公表しました。その結果、宮城県は「政治」分野が47番目に低く、「行政」分野が42位、「教育」分野が37位、「経済」分野が23位と、全体として低い順位となっています。
Q3 誰が最も問題に直面していますか？	妊娠している女性、若い女性・男性から女性に対する扱いやなど 政府・地方自治体
Q4 その問題の真の原因は何ですか？	選挙活動を手控えてもらうことへの周囲の理解 選挙活動に欠ける費用と男女の所得格差 若い女性の帰郷 ハラスメントを要する 自治体の就業機会は限られており、男性中心の政治状況

【2立案：持続可能な解決策の提案】 ※「課題」を再掲し、

Q1 誰がどう変わればよいですか？	男性がジェンダーギャップに対して理解を示す
Q2 どんな条件が必要ですか？	男性がジェンダーギャップ解消の取り組みについて理解し実行する
Q3 誰が利益を得ますか？	ジェンダーバイアスが引き続き課題は女性だけでなく男性にとっても不利益となりうるものもあり、すべての人物の人間性を発揮（生かす）する可能性がります。ジェンダーバイアスが解消されるのは、明らかになっている企業や行動であり、育って来た世代や次の世代を担っていくためにも必要である。各々のジェンダーでは居心地良く感じる価値もあります。しかし、私たちはまだ未だ未だ人と関わり、複数のジェンダーを兼行兼業しながら生きています。一人一人がより自分らしく生きやすい社会を実現できる。

【3検証となるテーマは？Next 5は】

①何を元にしたあなたのグループのテーマは？	
②なぜNext5に当てはまる内容は？	ジェンダー平等の実現

中間報告会	発表は3分48秒でした。発表者 大船山 富口 小林 福嶋 木下
福嶋	理事はしっかりすること
大船山	内容にはOK。ライブIPあったら？
野村	実際にやる準備は行かぬこと 演習は理解しているが、現実はしっかり期待されたことを覚えてください。 質で理解して行ってください。
福嶋	女性部会あれば、誰かに聞いてみてください。質で共有して理解して説明してほしい。
川原	事務局は必ずチェックすること。 説明とかのやり取りもかなり確認して行う事。 ジェンダーギャップがどうなるかを聞きますが、聞くためにはどうする？ 政府と経済が絡んでいる。どちらかにはたはうが良い。

実現に至る時期 ※出席人数が10名以上	宮崎経済界では、企業における女性の労働力やキャリアアップ機会が限定的ではなく、女性活躍が望ましい状態があります。原因としては、男女間の賃金の差、昇進に資する女性の割合の低さにあります。青年経済人の集まりであるJCI宮崎から、女性が参加しやすい環境を整えることで、宮崎経済界に対して発信していく必要がある。
目的	JCI宮崎から、宮崎県の経済分野で活躍する女性を増やすことを目的とする
誰と一緒にできるか	宮崎男女共同参画センター、宮崎青年会議所女性会、県内の大学生
実施できる特徴	年間を通して、段階的に実施する
どんなスケジュール感で準備が必要か	8月より、部会活動に向けた準備を行い、隔週実施内容に即した準備を行っていく
実施できる会場は	宮崎市市民プラザ外会議室、大学内施設などを検討
実施計画内容 目的を達成するための方法 ※出来るだけ詳細に記載する	【企画の主題】「JCI宮崎女性部会-宮崎支隊」を設営 キヤッチコピー「#JCIADNMYZK_01」...「私達がこの空想をリードしていく」といった意味合い、SNS上での発信などを行う。女性支援センターと連携する。 【企画の構成】内部改善、外部発信、未来創造という3つの軸で行っていく 
【具体的内容】	①女性部会内部委員会設置「部会」を策定、IP設営 ②Instagramを使った、女性部会メンバーについての発信や宮崎で働く女性のライフIPS（コソ）についての発信（外部発信） ③宮崎県女性部会を設営「正式部会」ではなくも、参加できるイベントを行う「外部発信（短期・関心向上）」 ④女子大生（宮崎）のキャリアアップ研究会を策定、策定活動 ⑤子育てや産後など、女性に関心のあることに関するセミナーを実施する「外部発信（短期・関心向上）」 ※部会にニーズのあるコンディションイベントを企画、実施することで、より多くの女性を巻き込みやすい環境を構築する。加えて、関心が高いJCI宮崎の女性メンバーの活躍を助言することで、一歩の先へと繋げる。
【スケジュールイメージ】	2023年10月 JCI女性部会設置①Instagram運用開始②定期的に発信 2023年11月 JCI女性部会内部委員会設置③「部会」を策定 2023年12月 2024年1月 2024年2月 新年慶ママ向け相談会_皇JCI宮崎女性部会を設営「正式部会」ではなくも、参加できるイベントを行う 2024年3月 部会活動 2024年4月 部会活動 2024年5月 高校生進学ママ向けお祝い相談会_皇JCI宮崎女性部会 2024年6月 2024年7月 2024年8月 2024年8月 大学生向け女性のキャリアや人生相談会を実施（キャリアに関わりたい女性のための「皇JCI宮崎女性部会」） 2024年10月 子育てや産後など、女性に関心が高いことに関するセミナーを実施する_皇JCI宮崎女性部会 2024年11月 2024年12月

	誰も取り残されない地域の実現			労働生産性を向上させる地域の実現			持続可能で安全な地域の実現		
	社会	経済	環境	社会	経済	環境	社会	経済	環境
地域	地産地消の推進	付加価値創造の推進	再生エネルギーの利用促進	相対的貧困の改善	地域の魅力の発掘と発信	資源の持続可能な生産と消費	多様性を尊重した教育の推進	イノベーションの促進	エコツーリズムの推進
人財	健康意識の向上	ビジネスマッチング	持続可能な消費行動の啓発	ニューノーマルへの適応	IT人財の育成	環境教育による環境保全促進	伝統の継承（宮崎の文化）	DXの推進	国土強靱化計画の推進
組織	ジェンダー平等の実現	会議の効率化	防災ネットワークの強化	JCIブランドの確立と認知度向上	企業・学校・団体との連携	環境経営の確立			

89 ミーティング
女性の活躍する立場がない、ジェンダーギャップのどういふところを直していくのでピックアップしてまとめる